

J D B A 日本選手権大会

2018 年度ベスト 10 チーム（準決進出）の皆様へ

JDBA 登録チームの皆様へ

協賛のご案内

SHANTI 統合医学サロン&研究所

<http://www.shanti-ctm.com/>

推拿（すいな）とは？

- ◆中国の伝統医学（中医学・東洋医学のルーツ）に基づく手技療法で、漢方薬と鍼灸とあわせて3大中国伝統療法と言われており、その歴史は数千年に及びます。
- ◆“推拿”の推は「おす」、拿は「つかむ」という意味で、推法、拿法等100種類以上の手技を用い経路とツボを効果的に刺激することで、痛みを取り除いたり、内臓器官に伝わり自己の治癒力を呼び覚ましたりすると考えられています。
- ◆安全性が高く苦痛を伴わないのが特徴で、その適応範囲の広さは筋肉や関節等の運動器に止まらず、免疫系や内臓疾患、検査にでない未病をも対象とします。中国では各地の病院に“推拿科”が設置され、西洋医学と連携し治療に当たると言う現代ならではの形で今も進化発展し続けています。

スポーツにおける推拿施術の目的は？

◇ドラゴンボート競技選手のパフォーマンス向上と選手生命の延長を目指します！

具体的にどんなことができるの？

1、競技前後のウォームアップ、クールダウン（筋肉、関節など運動器の調整、神経伝達の効率化）

*自身では届かない深いところまで作用します。ウォームアップは緊張の軽減とパフォーマンス向上に、クールダウンは回復速度の加速、腫れや炎症にも対応します。

2、スポーツ障害・外傷のケア（運動器のほか様々な痛み、関節の可動域の回復、手術や負傷後の競技復帰までの期間を短縮）

*アイシングや挙上、圧迫など（RICE 処置）といった西洋医学的アプローチとは異なるアプローチで、症状固定などでお悩みの方の相談もお受けします。痛みの元となる動作の解析（再発予防）も可能です。

3、試合（レース）前後のコンディショニング（風邪・胃腸症状・各種痛みのケア）

*ドーピング対策として、薬を使わずに各種症状軽快のお手伝いをします。

4、原因不明の不定愁訴（ふていしゅうそ）の改善（自律神経失調、慢性疲労症候群、バーンアウト、不眠、パニック症状、甲状腺などのホルモン分泌異常、自己免疫異常、アレルギー等）

*治療法が見つからない不調でお困りの場合、なんでもご相談ください。

ドラゴンボート関係者への特典とお願い

◆以下の割引価格での推拿施術（基本的に、SHANTI 大阪淀屋橋にて実施）

	施術料金の割引額	お願い（必須）	お願い（任意）
2018 年日本選手権準 決勝進出チームの選手	定価の 半額	SHANTI HP にて協賛者 として掲示します	ユニフォーム等へのロゴの掲示、blog、 HP、SNS 等に施術の感想を書 いて頂けたら嬉しいです。
2018 年 JDBA 登録チー ムの選手	30%割引	ご自身の blog、HP、SNS 等 に施術の感想を書いてくださ い	ユニフォームなどに SHANTI のロゴ を掲示して頂けたら嬉しいで す
JDBA 関係者 (選手・競技役員)	10%割引	ご自身の blog、HP、SNS 等 に施術の感想を書いてくださ い	ユニフォームなどに SHANTI のロゴ を掲示して頂けたら嬉しいで す

※推拿施術に鍼灸や可視総合光線療法を追加することもできます。

優待価格で施術を申し込む際のご注意

【ご予約について】：

①必ず以下のご予約フォームからお願い致します。

<http://www.shanti-ctm.com/calendar/index.php>

②緑で表示された「ご予約受付中」の時間帯で、初回は施術時間+30分、2回目以降は施術時間分のご予約枠があるところを選択してください。

③フォーム備考欄に「ドラゴンボート優待」と区分（ベスト8、選手、関係者のいずれか）をご入力下さい。

④初回のみカルテ作成料（定価 1000 円税別）を申し受けます。

【対象コースについて】： *推拿コース中に鍼灸も実施（無料）、光線療法を追加（1000 円加算）

推拿全身 60 分コース（定価 6000 円税別）

推拿全身 90 分コース（定価 9000 円税別）

鍼灸全身 30 分コース（定価 3500 円税別）

コース案内<http://www.shanti-ctm.com/course/index.html>

☆サロンの場所：大阪市中央区伏見町 2-6-2-2 0 1 京阪電車と地下鉄御堂筋線淀屋橋駅・堺筋線北浜駅より約 5 分

☆お問合せ：

info@shanti-ctm.com

施術者について



畠中 恵美 Megumi Hatanaka/SHANTI 統合医療サロン&研究所

(推拿、鍼灸、按摩マッサージ指圧師)

◇テコンドー世界学生選手権で日本人初の3位、その後、アメリカ/クロアチアなどで金メダル獲得。現在は、アスリートや未病でお悩みの方、専門の統合医療サロンを運営、解決策が無く困っている方に世界各地の伝統医療を調査し情報発信を行うため研究所を設立。その傍らで伝統医療通訳や講演活動を行う。

◇略歴：大阪府出身。英語、スペイン語、韓国語に堪能。1990年テコンドー道場に入門。1992年黒帯取得、世界学生選手権3位、USオープン金メダル等獲得。アテネ五輪出場を目指し、2度に渡るヨーロッパ遠征を敢行し多数のメダルを獲得するが、2度目の遠征中にアキレス腱断裂。オランダで手術、帰国し入院中にリハビリ中の多種多様な選手との交流を経て、失意の底から脱出し1年後の復帰戦で、優勝。本格的に競技復帰を果たす。スポーツ医学に興味を持ち、アメリカに渡り医学部の授業を聴講しながら整形外科でインターンをした後、東洋医学（中医学）を学ぶ。競技生活中に痛めたケガや原因不明の不調（バーンアウト？）と花粉症が治ったため、東洋医学（推拿）施術者として同じ様な悩みを抱えるアスリートや、未病（検査にでない、治療方法がない）でお悩みの方のお手伝いを志し、現在に至る。

<http://www.s-rights.co.jp/member/hatanaka-megumi>